

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	関市立瀬尻小学校		
実 施 期 間	平成26年11月6日（木）～11月26日（水）		
実 施 概 要	①「松尾山」の登山 ②地域の特産物「円空いも」についての講話と収穫、親子で「円空いも」調理 ③あかつき障がい福祉サービス事業所「つくし」との交流 ④わくわくフェスタ		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input checked="" type="checkbox"/> 自然 <input checked="" type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	110 人	計 164 人
	地域関係者	54 人	
実 施 状 況	①「松尾山」の登山（11月6日・20日） ・「ふるさとに学び、ふるさとを愛する子を育てる」ことが、本校の特色ある教育活動であり、松尾山は総合的な学習の場となっている。 ②地域の特産物「円空いも」についての講話と収穫（11月11日・19日） ・3年生の総合的な学習に、栽培の指導者平田勝さんと農林事務所、J Aの方に栽培の歩みについての講話を聞き、その後収穫した芋で調理を行い、感謝の会を行った。 ③あかつき障がい福祉サービス事業所「つくし」との交流（11月21日） ・5年生の総合的な学習の時間のテーマである「福祉」について、障がい者の方への理解を深める交流を工夫し、実施した。 ④わくわくフェスタ（11月26日） ・児童会主催の異学年集団の交流の様子を保護者や地域住民に公開した。人権教育への取組である「ふわふわ言葉・態度」を実践した。		
成 果 及 び 課 題	<成果> ○「松尾山」登山は、低学年では自然観察の場、中学年は川と山との関わりを学ぶ場、高学年では、地域の地形と史跡の位置を確かめる場として、全学年の学習で実施されている。ふるさとへの愛着が学年ごとに深まっていくように位置付け、サポートに当たる地域の5つの支援団体にも好評である。 ○特産物を守り続けてきた方々の苦労や工夫についてより理解を深め、特産物を作り続けることの意味について考え合い、特産物への意識が高まった。 ○所員の方や社会福祉協議会の皆さんとの連携により交流会を実施することができ、共に楽しみ喜び合うことで、地域での共生について理解を深めた。 ○児童の創造性や主体性、相手への思いやりの気持ちを価値づけ評価できた。業間休みに異学年同士で遊ぶ姿が目立ってきている。 <課題>・学習の成果を発表する場を設け、表現力の一層の育成を図ること。		